

【4-8 定性的システマティックレビュー】

CQ	1-3	ABUSは高濃度乳房に対する乳がんマンモグラフィ検診の補助的なモダリティとして推奨されるか？
P	日本人, 高濃度乳房女性	
I	検診マンモグラフィ+ABUS	
C	検診マンモグラフィのみ	
臨床的文脈	高濃度乳房を有する女性は、MG検診での感度低下のみならず乳がん発生率も上昇することが示されている。この問題は、昨今、マスコミの話題にも取り上げられており、一般社会でもこの問題に関する関心が高まっている。よって、高濃度乳房を有する女性に対する対策の一つとして、このCQは優先検討課題と言える。	

O1	死亡率減少(重要度9点)
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	
コメント	該当する文献は認められなかったが、ABUSのみで発見されたがんの大多数は浸潤癌であり、予後の改善が期待される。

O2	感度(重要度8点)
非直接性のまとめ	該当4文献あったが、いずれも欧米での研究であり、日本人を対象としていない。罹患率が異なるため、この結果を日本人に外挿するには注意が必要である。
バイアスリスクのまとめ	該当4文献 1文献:技師によるMGのdensity評価のため、一部の症例が除外されている可能性がある。また1文献:historical controlを対象としている 1文献:対象の全体の1/3がnon-dense例
非一貫性その他のまとめ	
コメント	O2(感度)に関しては、ABUSを併用することで上昇する

O3	要精査率(上昇)(重要度7点)
非直接性のまとめ	該当4文献あったが、いずれも欧米での研究であり、日本人を対象としていない。罹患率が異なるため、この結果を日本人に外挿するには注意が必要である。
バイアスリスクのまとめ	該当4文献 1文献で技師によるMGのdensity評価のため、一部の症例が除外されている可能性がある。また1文献ではhistorical controlを対象としている 1文献:対象の全体の1/3がnon-dense例
非一貫性その他のまとめ	報告によって推定値が大きく異なり、評価の方法に関して研究によって異なっている可能性がある
コメント	O3(要精査率)に関しては、ABUSを併用することで上昇をきたすが、MGとABUSを独立して判定するか、総合的に判定するのかが大きく異なり、Giuiano,2013ではMG単独群よりも要精査率は減少している

O4	費用(重要度6点)
非直接性のまとめ	
バイアスリスクのまとめ	
非一貫性その他のまとめ	

コメント

該当文献なし。ただし、Giuliano, 2013らは、米国の保険制度下でのcost-benefitに関するシミュレーションを行っている。この結果ではABUSでの早期発見した乳がんを早期に治療が行うことでの治療費が軽減され、高濃度乳房に対してABUSに併用する検診のcost-benefitは良好であったと報告している。